

2019年事故を決して忘れず安全を誓う集い

2019年4月25日 基調講演

JR
WEST

西
労
組
UNION
ニュース

No.14
(通算)No.536
2019.7.8

JR西労組ホームページ
(<http://www.jrw-union.gr.jp>)

西日本旅客鉄道労働組合

本部/〒530-0012 大阪市北区芝田二丁目一番十八号
(西阪急ビル9F)
TEL J R (大阪) 〇七-一七-一五九八六九(代)
TEL J R (大阪) 〇七-一七-一五三三三三(代)
FAX J R (大阪) 〇七-一七-一五三三三三
●発行責任者/荻野山勇市
●編集責任者/宮野山勇市
●馬朗

JR西日本の安全性向上の課題

関西大学社会安全学部 教授 安部 誠治

大変重要な乗り物、鉄道。

最初に、日本では鉄道が大変重要な乗り物だということをお話したいと思います。2016年の日本の公共交通機関の1日あたりの輸送人員【図1、次頁】を見ると、鉄道がトップで、6813万人を輸送しています。会社勤めの行きと帰りで2回、私のように、家から職場に行くのに三つ乗り継いで行きますので、往復6回乗る場合もあります。したがって単純集計の6813万人ではなくて、実際には一人が往復乗ったら半分の3400万人になります。あるいは1人が二つの別の会社の路線を乗り継いでいけば、往復4回になりますので、4で割るということになります。いずれにしても、1日当たり2千万人とか3千万人の市民が、利用しているのが鉄道です。

他の乗り物というと、飛行機は、わずか27万人しか利用していません。鉄道はわが国ではダントツで利用されている、社会に必要不可欠な乗り物だということになります。

世界の鉄道の輸送量を見てみると、【図2、次頁】日本は、旅客が3位、貨物はベスト10に入っています。日本は、島国で、重量貨物を船で運ぶので、鉄道での貨物の輸送量が少なく、輸送量は213億トンキロしかありません。アメリカ、ロシア、中国のよう

な国土の広い国は、鉄道貨物が多く、例えばロシア人に「鉄道って何？」と聞きますと、「あれは、荷物を運ぶもの」という答えになるわけです。ところが、日本では「鉄道って何？」と聞いたら、「貨物を運ぶもの」とは、誰も言いません。

貨物輸送はそんな状況ですが、旅客輸送では、日本は世界3位です。1位がインド、2位が中国で、これらの国の人口は日本の10倍ありますので、日本の旅客輸送量4318億人キロを10倍すると、インドとか中国を遥かにしのぐことになります。

旅客輸送量は、先進国では、フランスが日本に次いで多いのですが、フランスの人口は日本の半分なので、仮にフランスの輸送量を倍にしても、1600億人キロぐらいにしかなりません。日本よりも遥かに少ないということになります。このように、日本は世界で一番の、旅客輸送のすごい国だということになります。日本の鉄道のことを語る上で、このことは重要です。

鉄道という「商品」の品質とサービス

鉄道という「商品」の品質とサービスということについて、考えてみたいと思います。【図3、次頁】

まず、鉄道という「商品」の品質とはなんですか？私には、「安全」と「安定」ということが最も重



【講師略歴】

関西大学 社会安全学部 教授

安部 誠治 氏

1952年 山口県生まれ
1981年 大阪市立大学大学院経営学研究所後期博士課程中退
1981年 大阪市立大学商学部助手、その後専任講師、助教授
1994年 関西大学商学部教授、2010年4月から社会安全学部教授。国際交流センター所長、商学部長代理、社会安全学部長、副学長、評議員、理事を歴任

【専門分野】

公益事業論、交通政策論、事故調査制度論
日本リスクマネジメント学会優秀著作賞、日本交通学会賞受賞

【学会役職等】

公益事業学会理事・会長など学会役員を歴任
日本の運輸事故調査システム構築に寄与、政府原発事故調技術顧問などを歴任し、現在、事業用自動車事故調査委員会委員。JR西日本安全推進有識者会議委員、新幹線重大インシデントに係る有識者会議座長などを務める。